
ネギま！ねぎま？

鷹宮 龍翔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネギま！ねぎま？

【Nコード】

N3327P

【作者名】

鷹宮 龍翔

【あらすじ】

原作に沿いながらオリキャラを登場させていきます。

因みにオリキャラがチート、バグキャラ的なものではありません

駄作ですがよろしく願いします（・・）ノシ

さあ、始めますぞー（b y ック）（前書き）

いわゆるブローグ的な……

さあ、始めますぞ（boyック）

ブルルル　ブルルル　ガチャ

「誰だあ…こんな朝早くに」

俺はそう呟き電話に出る。電話に出る際、朝早くにとは言ったものの時計を見てみると針が午前9時を刺していた……。恐らく気のせいだろう。というかそう思いたい

「おお真君か？わしじゃよ。わし」

聞き覚えのあるうざったい声が俺の目を完璧に覚ます。出た時は誰だと思ったがわざわざ俺に電話してくる奴なんぞあのジジイしか居ねえ訳で…

「ジジイか？なんだよこんな時間に」

「フオフオフオ。実は君に頼みたい仕事があるんじゃないよ」

あのジジイというのは麻帆良学園　学園長兼ぬらりひょんの近衛近衛門である。

因みに何故ぬらりひょんなんて呼んでいるのかと言うと単純にあのジジイの頭がぬらりひょんっぽく見えるだけだ。
だから実際にぬらりひょんという訳ではない…等。

「仕事？今までと一緒でどうせろくな仕事じゃねえんだろ？」

今まで受けてきた仕事の事を考えていたら自然とこんな言葉が口から出てしまった。

だって本当の事なんだもん。

「詳しい事はまた後で話すから今から麻帆良学園に来てくれんかう」

「はあ！？今からってちよつ「ガチャ プープープー」きりやがったな…」

このジジイの人の話を聞かねえで電話を切る癖はどうにかして貰いたいもんだ。

お蔭様でこっちは強制的に麻帆良学園まで行く羽目になっちまった…。

つたく…このジジイだけは…

「面倒臭…」

そんな事を考えていたら俺は思わず口から本音をこぼしていた

さあ、始まりますぞー)(b y ック)(後書き)

これから頑張っていきます!!)(ギリッ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3327p/>

ネギま！ねぎま？

2010年12月6日04時37分発行